

第2回定例会一般質問項目

平成30年6月14日(木)

午前9:00～

質問 順番	議員名	項 目
1	高田 浩視 (一問一答)	<p>1 橋りょう点検修繕事業について</p> <p>(1) 対象となる道路施設の種類、規模、数、地域、経過年数は。</p> <p>(2) 各年における対象となる道路施設の選定方法、発注方法は。また具体的な検査方法、費用は。</p> <p>(3) 検査方法の進捗は。将来像は。</p> <p>(4) 点検の結果は。修繕、架替の判断はどのように行われるのか。</p> <p>(5) 県が管理している道路施設の検査の結果は、把握しているのか。</p> <p>(6) 今後考えられる架替に対する計画は。</p> <p>2 ふるさと納税促進事業について</p> <p>(1) 本市におけるこの制度の良い所、課題は。</p> <p>(2) 本市におけるふるさと納税の方法、行われる時期、PR方法は。</p> <p>(3) ふるさと納税の用途を広く市民に求め、より具体的に事業の趣旨や内容、成果を明確化する取り組みは。</p> <p>(4) ふるさと納税を行った人とのコミュニケーションを積極的に継続的に行い、地域活性化につなげる取り組みは。</p> <p>(5) 企業版ふるさと納税の取り組みの考えは。</p>
2	寺町 茂 (一問一答)	<p>1 学校教育について</p> <p>(1) 従来の教員枠に加え、ALT、理専等様々な分野の職員が雇用されていますが、どのような職種の職員が雇用されていますか。</p> <p>(2) 現在の人的教育環境整備をどのように評価されていますか。また、今後の方針は。</p> <p>(3) 学校におけるふるさと教育の現状と今後の展望は。</p> <p>(4) 下校時における事故、事件を防止するための対策の現状と今後の方針は。また「こども110番の家」と園児、児童、生徒の交流の現状は。</p> <p>2 自然環境保護について</p> <p>(1) 本市のシンボルともいえるゲンジボタルの減少が観察されていますが、その減少を食い止め、増やすための施策は必要と考えているか。</p> <p>(2) 東海環状自動車道及び隧道建設に対する環境アセスメントは十分に実施されましたか。また、南裾水路に生息する生物を保全するための対策はとられるのか</p> <p>3 合併特例債延長について</p> <p>合併特例債の再延長を受け、本市はどのような事業展開を進めていくのか。今後の展望は。</p>

質問 順番	議員名	項 目
3	河村 志信 (一問一答)	<p>1 地域学校連携推進について</p> <p>(1) 本巣松陽高校と本巣市との連携協定の内容について。</p> <p>(2) その他の高校、大学との「地域学校連携推進」の可能性について。</p> <p>(3) 自転車、ランニング、ウォーキングなどを楽しめる運動公園的なものを根尾川河川敷に設置の考えは。</p> <p>(4) 本巣市で学ぶ生徒たちが快適に勉学にいそしめるような自転車通学路やバス路線の見直しについて。</p>
4	澤村 均 (日本共産党) (一問一答)	<p>1 高齢者の買物支援事業について</p> <p>(1) 現在実施の買物支援事業3か所の自治会の利用状況は。</p> <p>(2) 今後他の自治会への拡大の可能性は。</p> <p>(3) 運営に協力されているボランティア、運転手の確保等、市としてのバックアップ体制は。</p> <p>(4) 辺地(根尾地域)でのデマンドタクシーの考えは。</p> <p>2 若者の婚活支援について</p> <p>現在民間の結婚相談所等が中心になり婚活パーティーを行っているが、費用が高額のため何度も参加しづらい状況にある。市としての支援は可能か。</p> <p>3 平和に関する取り組みについて</p> <p>原水禁世界大会に向けた平和行進など核廃絶を目指すこうした取り組みについての思いは。</p>
5	堀部 好秀 (一問一答)	<p>1 本巣市の職員について</p> <p>(1) 28年度からの職員数の実際の推移は。</p> <p>(2) 職員の確保についての対策は。</p> <p>(3) 年次有給休暇の取得状況は。</p> <p>2 幼稚園の養護教諭について</p> <p>(1) 市内の幼稚園の養護教諭配置状況は。</p> <p>(2) 養護教諭等の配置計画は。</p> <p>3 認知症カフェについて</p> <p>(1) 昨年度までの認知症カフェの利用者が少ない要因は。</p> <p>(2) 今年度からの取り組みは。</p>

質問 順番	議員名	項目
6	鏑本 規之 (一問一答)	<p>1 副市長の抱負について</p> <p>(1) 本巢市をどのように思っておられるのか。</p> <p>2 敬老会の実施方法について</p> <p>(1) 敬老祝賀会を市で行うのではなく、各地区で実施することはできないのか。</p> <p>3 根尾川花火大会について</p> <p>(1) 広く参加企業から寄付金を募ることにより、市の負担が少なくなります。市として参加企業を多くするための方法は。</p> <p>(2) 参加企業にとって、何かメリットはあるのか。</p> <p>(3) 企業がこの事業を支援するために寄付をした場合、税制上の優遇措置はあるのか。</p>

第2回定例会一般質問項目

平成30年6月15日(金)

午前9:00～

質問 順番	議員名	項 目
1	黒田 芳弘 (市政自民クラブ) (一問一答)	1 学校給食センターの民営化（民間委託） (1) 民間委託の検討に至る経緯は。 (2) メリット、デメリットや主な課題は（雇用、食物アレルギー、費用、委託先など）。 (3) 他自治体における民間委託の実績やその効果は (4) 民間委託へ向けた今後の進め方は。 2 本巢市の働き方改革 (1) 現在の具体的な取り組みは。 (2) 自治体の働き方改革とその課題は。 (3) 今後の働き方改革への取り組みは。 3 「かわまちづくり支援制度」による水辺の有効活用 (1) 制度実現に向けた、市や市民の関わり方や段階的プロセスなど、この制度の詳細は。 (2) 制度活用による水辺空間の創出について、市の見解と方針は。
2	瀬川 治男 (市政自民クラブ) (一問一答)	1 パブリックコメントについて (1) パブリックコメントとは難しい言葉ですが、どうしたものかお聞きいたします。 (2) 意見を求める方法は。 (3) 意見があまり出ない状況をどのようにとらえていますか。 (4) 多くの市民から意見を聞くのが本来の目的と思われるが、その方策は。 2 本市ホームページ施設案内の掲載方法について (1) 内容的に乏しいと感じるがいかがか。 (2) 市民文化ホールを例にとれば、何時どのような行事が行われるのか市民に知らせ、市民憲章にもあるように、文化の香るまちにしなければならぬと考えるがいかがか。 (3) 市内にはいろいろなところで活躍されてきた有能な人材がたくさんおみえです。そうした方々にお願ひしホームページを充実する必要が大切と考えます。他の施設においても人材を配置し、充実した施設の運営にしていってはどうか。

質問 順番	議員名	項目
3	大西 徳三郎 (市政自民クラブ) (一問一答)	<p>1 ホテル等の誘致に関する条例について 本市へホテルを誘致することにより、観光の振興及び地域経済の活性化を図り、市勢の発展に寄与する条例を構築する必要があると思うが考えは。</p> <p>2 高齢者の運転事故等について</p> <p>(1) 運転免許証自主返納高齢者支援事業では対象者に樽見鉄道の乗車券を交付していますが、もっと親切で有効な支援（電動四輪カート・電動アシスト三輪車）などを検討すべきと思いますが考えは。</p> <p>(2) 高齢者タクシー利用助成事業は、対象となるハードルが高いため、中身を見直すべきと思いますが考えは。</p> <p>(3) 自動ブレーキなどが搭載された「先進安全自動車（ASV）」の購入者に対して補助金を出しサポート車の普及を図るべきと思いますが、考えは。</p>
4	高橋 勇樹 (一問一答)	<p>1 今後の本市の防災・減災について</p> <p>(1) 地震発生時の市の動きについて。</p> <p>(2) 減災に努めるための市の動きについて。</p> <p>(3) 地域の防災リーダーについて。</p> <p>(4) 外山地域の避難所について</p> <p>2 公共施設の高効率化について</p> <p>(1) 本市の高効率照明の切替え状況は。</p> <p>(2) ランニングコスト削減額の見通しは。</p> <p>(3) 学校の教室の高効率次世代照明の使用の考えは。</p> <p>3 子どもたちの登下校時の安全確保について</p> <p>(1) 登下校時の見守り体制について</p> <p>(2) スクールゾーン設定の状況について</p> <p>(3) スクールゾーンの車の規制についての考えは。</p>
5	今枝 和子 (公明党) (一問一答)	<p>1 産後ケアについて</p> <p>(1) 本市における産後ケアについて。</p> <p>(2) 国が助成する産後うつ健診についての考えは。</p> <p>2 フッ化物洗口について</p> <p>(1) 本市における現在のフッ化物洗口の実施状況、また、その効果は。</p> <p>(2) 県は積極的にフッ化物洗口を推奨していますが、本市としての幼稚園・小中学校実施の考えは。</p> <p>3 熱中症対策について</p> <p>(1) 現在の熱中症対策と熱中症計等の利用についての考えは。</p> <p>(2) 留守家庭教室における熱中症対策、また熱中症計等の利用についての考えは。</p>